

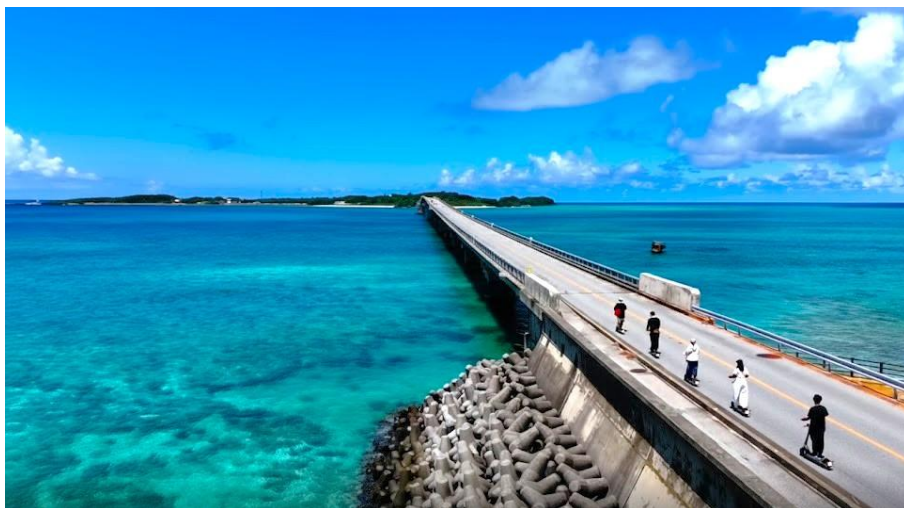
2025年 10月 22日

沖縄トヨタ自動車株式会社

沖縄トヨタ自動車、宮古島で小型モビリティ実証事業を開始 国交省「共創モデル実証運行事業」に採択、観光回遊と地域交通をつなぐ新しい島の移動体験

沖縄トヨタ自動車株式会社(本社:沖縄県浦添市、代表取締役:野原 朝昌、以下「沖縄トヨタ」)は、宮古島市や宮古島観光協会をはじめとした地域の関係者とともに設立した「宮古島小型モビリティ推進プラットフォーム」として、国土交通省 令和 7 年度「共創モデル実証運行事業」に採択されました。

本事業では、小型モビリティシェアリングサービス「TOCKLE(トックル)」を活用し、観光客や市民にとって身近で楽しく新しい移動手段を提供します。



【導入の背景】

宮古島では年間約 100 万人が訪れ、観光客の約 8 割がレンタカーを利用しています。近年ではレンタカー台数が直近 4 年で倍増し、市街地の渋滞や駐車場不足、事故増加が深刻化しています。一方で、路線バスは市街地を中心に放射線状に運行していますが、本数・利便性ともに十分ではありません。

こうした中、地域ではループバスやデマンド交通の導入が進む一方、公共交通と観光交通を網羅的に結ぶ仕組みは途上にある状況です。本事業では、既存の交通体系を補完する「ラストワンマイルモビリティ」として小型モビリティを導入し、観光・生活両面の移動課題解決を目指します。

<本リリースに関するお問い合わせ先>

沖縄トヨタ自動車株式会社 地域支援課 プロジェクト担当 : 渡久地(とぐち)・友利(ともり)

TEL:098-877-2521 E-Mail:tomori.aiki@okinawa-toyota.co.jp

【特徴的な取り組み】

1. 交通×観光の融合

宮古島観光協会と連携し、ポート周辺の飲食店や観光スポットを紹介。パンフレットや SNS で紹介することで、移動そのものが「旅の体験」となるよう、食・景・体験を組み合わせた“コトづくり”を展開します。

2. 安全性・利便性の確保

体験乗車会や安全啓発活動を実施し、観光客・市民双方に交通ルールを浸透。夜間走行制限や速度制御機能など、安全設計を重視した運用を行います。

3. 既存交通との接続

路線バスのほか、デマンドバス「チョイソコみやこじま友利線」や宮古島ループバス等の交通施策との結節による「徒歩+小型モビリティ+公共交通」のシームレスな移動環境を実現します。

【実証効果と展望】

初年度は月間約 480 回の利用を想定し、1 人あたりの移動・消費行動を可視化。観光客の回遊行動を促し、飲食・体験・小売など地域消費の拡大を検証します。また、データ分析を通じて交通需要を可視化し、将来的な公共交通再編やモビリティ政策への応用を目指します。

実証後は、利用料収入による自立運営モデルへの移行を予定。収益を次期のポート整備や車両追加に再投資し、観光地における持続可能なモビリティエコシステムの確立を目指します。

【実証事業概要】

実施期間	2025年10月25日～2026年1月31日
導入台数	計20台（二輪タイプ10台／三輪タイプ10台）
設置場所	市街地、宿泊施設、公園等の市内3～5カ所にシェアリングポートを設置 ①宮古島市公設市場 ②パイナガマ海空すこやか公園 ③宮古島観光協会
利用方法	スマートフォンアプリを用いた無人貸出・返却、GPS連携による利用可視化
利用料金	サクッとプラン：基本料金150円+10分毎に200円 ゆったりプラン：6時間以内定額4,500円(以降10分毎に200円)
特設サイト	https://www.okinawa-toyota.co.jp/corporate/okinawa-toyota-group-activities/tackle

専用アプリによる多言語対応や位置情報連携を通じて、観光客・住民が気軽に利用できる仕組みを整備。電動キックボード(特定小型原動機付自転車)は、16歳以上であれば免許不要で利用できることから、アプリ内での交通ルールテストを実施するほか、ジオフェンシング機能を用いた運転危険エリアでの走行制御等、安全面にも配慮いたします。さらに、運行データとアンケートを分析し、観光経済効果や移動効率、安全性・利便性を定量的に検証します。

<本リリースに関するお問い合わせ先>

沖縄トヨタ自動車株式会社 地域支援課 プロジェクト担当：渡久地(とぐち)・友利(ともし)
TEL:098-877-2521 E-Mail:tomori.aiki@okinawa-toyota.co.jp

【TOCKLE について】

本実証で導入する「TOCKLE」は、以下の特徴を備えています。

1. 安定性の高い三輪モデルの導入

従来の二輪モデルに加えて、三輪仕様を取り入れることで、初心者にも安心な乗り心地を実現。

2. ジオフェンシング機能による安全制御

GPS で走行エリアを把握し、自治体指定の侵入禁止区域への進入時には車両を自動停止させる機能を搭載。これにより、観光地や住宅地、危険区域への進入抑制を図ります。

3. 夜間運用禁止による安全制約

利益優先ではなく、安全運用を重視し、夜間の走行は原則禁止とする仕様を採用。

4. 地方展開を見据えた設計

交通量が少ない地方では運用しやすさが高まり、道路幅・信号量・渋滞の少なさを活かして安全性を保ちやすい点を重視。「交通空白」の解消を目指す。

5. 導入実績

すでに東京都立川市、千葉県流山市、福岡市、京都府京丹後市などで導入・実証されており、地域特性に応じた運用ノウハウを蓄積。



STEP 1

専用アプリでライド開始

STEP 2

自由に走ろう

STEP 3

カンタン返却

【宮古島スマートモビリティ実証協議会について】

本協議会は、沖縄トヨタ自動車を中心に宮古島市、宮古島観光協会、宿泊事業者、交通事業者等が連携し、観光魅力と生活利便性を兼ね備えたモビリティ導入を通じて、地域課題解決を目指す官民プラットフォームです。

<本リリースに関するお問い合わせ先>

沖縄トヨタ自動車株式会社 地域支援課 プロジェクト担当：渡久地(とぐち)・友利(ともし)

TEL:098-877-2521 E-Mail:tomori.aiki@okinawa-toyota.co.jp